A 試合会場レポート

試合番号 **527**　　開催日 **2021/12/19**

令和3年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 女子　　会場： 高崎アリーナ

観客数： 855	開始時間： 11:15	終了時間： 13:25	試合時間： 02:10	主審： 冨田 博一	副審： 渡部 菜保子

久光スプリングス

監　督：酒井 新悟
コーチ：大久保 茂和

通　算：　－　勝　－　敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　－

東レアローズ

監　督：越谷 章
コーチ：高杉 洋平

通　算：　－　勝　－　敗
ﾎﾟｲﾝﾄ：　－

3	18	第1セット【 00:24 】	25
	25	第2セット【 00:23 】	21
	25	第3セット【 00:24 】	18
	25	第4セット【 00:29 】	27
	15	第5セット【 00:18 】	11
2			

ポイント　－　　【】内はセット時間　（）内は交代選手　　ポイント　－

第1セット　18 － 25

栄（濱松）	アキンラデウォ（井上(美)）		石川（）	関（西川）	
石井（）	井上(愛)（）		大崎（）	小川（）	
平山（）	中川（）		中田（白井）	クラン（）	

リベロ：戸江　　リベロ：水杉

第2セット　25 － 21

アキンラデウォ（井上(美)）	井上(愛)（）		石川（）	関（西川）	
栄（濱松）	中川（）		大崎（）	小川（）	
石井（）	平山（）		中田（野呂）	クラン（）	

リベロ：戸江　　リベロ：水杉

第3セット　25 － 18

栄（濱松）	アキンラデウォ（井上(美)）		石川（）	関（）	
石井（）	井上(愛)（）		大崎（井上）	小川（）	
平山（）	中川（）		中田（西川）	クラン（）	

リベロ：戸江　　リベロ：水杉

第4セット　25 － 27

アキンラデウォ（）	井上(愛)（）		石川（）	関（中田）	
栄（濱松）	中川（井上(美)）		井上（野呂）	小川（）	
石井（）	平山（）		西川（白井）	クラン（）	

リベロ：戸江　　リベロ：水杉

第5セット　15 － 11

アキンラデウォ（）	井上(愛)（）		石川（）	関（）	
栄（濱松）	中川（井上(美)）		井上（中田）	小川（）	
石井（）	平山（）		西川（）	クラン（）	

リベロ：戸江　　リベロ：水杉

<監督コメント>

決勝の舞台ということもあり、序盤から硬さが見られたが、２セット目から普段通りのプレーを取り戻せた。
攻撃力のあるチームに対し、ディフェンスで何とか粘り得点に繋げることができた。
苦しい場面がたくさんあったが、全員の力で乗り切ってくれた。決勝にふさわしい拮抗した試合を勝ち切り、年内最後の試合をいい形で締めくくる事ができ嬉しく思う。
また、リーグ再開に向けてよいスタートが出来るよう取り組んでいきたい。
本年も多大なるご声援ありがとうございました。

<監督コメント>

今大会の優勝を決めるこの試合で、スタートから勢いを出して先行する事ができましたが、相手の粘り強いディフェンスを崩す事ができずに、勝ち切る事ができませんでした。悔しい敗戦となり、応援いただいた方々にも申し訳ない結果となりましたが、まだまだシーズンは続きますので、しっかり修正して次へ向けて準備をしたいと思います。
ご声援いただいたファンの皆様に心から感謝いたします。
引き続きご声援をよろしくお願い致します。ありがとうございました。

<要約レポート>

2018年以来の優勝を目指す久光スプリングス対、2年連続決勝進出の東レアローズの決勝戦。
第１セット、久光の司令塔栄は、石井・中田らを中心に攻撃を展開する。対する東レの司令塔関は、クラン・石川へ正確なトスを集める。先に主導権を握った東レは、安定したディフェンスからリードを保ちつつセットを先取した。
第２セット、一進一退の攻防が続く。2回目のTTO後、抜け出したのは久光。アキンラデウォのブロックやブロード攻撃から流れをつかみ、このセットを奪取した。
第３セット、２セット目の勢いのまま流れをつかんだ久光は、危なげなくセットを連取した。
第４セット、後がない東レは、クランや石川、加えて井上・小川らの攻撃で意地を見せ、得点を重ねていく。両者一歩も譲らぬ緊張感が漂う中、最後は東レがセットを奪取した。
第5セット、１回目のTTOはラリーの応酬を制した久光のリードで迎える。対する東レはクランのバックアタックで攻勢し、点差を縮める。最後は石井が決め、久光が2018年以来の優勝を果たした。

作成者： 黒崎 直徒

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。